

日実動学-外検発 第H30-10号-報

検証実施証明書

国立大学法人 岩手大学
学長 岩淵 明 殿

貴機関は 公益社団法人日本実験動物学会
外部検証委員会による「動物実験に関する
外部検証事業」による自己点検・評価を行い
その結果に対する検証を本委員会が実施した
ことを証します

平成31年3月14日

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野 徹



動物実験に関する検証結果報告書

岩手大学



動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

平成31年3月

岩手大学
学長 岩淵 明 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 浦野



対象機関：岩手大学
申請年月日：平成 30 年 7 月 24 日
訪問調査年月日：平成 31 年 1 月 11 日
調査員：笠井憲雪 (東北大学)
磯貝 浩 (札幌医科大学)
松田幸久 (秋田大学)

検証の総評

岩手大学は 4 学部からなる総合大学であり、動物実験は農学部と理工学部で行われている。岩手県内 3 か所に分かれている 13 か所の飼養保管施設において、文部科学省の「研究機関等における動物実験に関する基本指針」(以下、「基本指針」という。)および環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(以下、「飼養保管基準」という。)に則した動物実験の実施体制が概ね整備されている。また、動物実験の実施状況も適切に把握され、動物実験の結果報告書の提出率は 100%であることは評価できる。しかし、一部の飼養保管施設においては、設備点検に改善の余地、あるいは老朽化などに伴ういくつかの問題点が見受けられた。今後、動物実験に造詣の深い現学長のもとで動物実験委員会の適切な指導により、長期的な整備計画を策定し、これらの問題点を解決することを期待する。なお、農学部など、産業動物や家庭動物、実験動物のケアに関して、将来動物福祉や愛護の担い手となる学生に模範となる教育を実践する大学として今後も邁進されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「岩手大学動物実験等管理規則」で機関内規程が定められており、その内容は概ね基本指針や飼養保管基準に則っている。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に定める動物実験委員会が設置され、その構成は3つのカテゴリーを満たしている。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「岩手大学動物実験等管理規則」および「動物実験計画書」等で動物実験計画についての立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、各種様式が定められている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験について、「岩手大学動物実験等管理規則」の他、遺伝子組換え動物を用いる実験については「岩手大学遺伝子組換え生物等安全管理規則」、感染実験については「岩手大学病原体等安全管理規則」、毒物劇物等を用いる実験については「岩手大学毒物及び劇物取扱いマニュアル」、放射線・放射性物質を用いた動物実験については「岩手大学放射線障害予防規定」がそれぞれ定められている。また、動物実験委員会、遺伝子組換え生物等安全委員会および病原体等安全委員会の各委員長が、相互に他の委員会委員となる体制をとっていることは、委員会相互のコミュニケーションを図るうえから評価できる。よって、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。

- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

学内に 13 か所の飼養保管施設が設置されており、これらすべてに実験動物管理者が置かれている。また、実験動物に関する飼養保管マニュアルが整備され、緊急時の対応法については「緊急時対応マニュアル」が定められている。動物実験委員会はこれらの施設を視察して、良好な維持に努めている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管施設等に近隣の病院等の「緊急時の連絡先」を掲示するよう検討されたい。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

長期間使用実績がない施設については、廃止届を提出させるなどの対応を検討されたい。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 「岩手大学動物実験等管理規則」に則り、適正な委員構成による動物実験委員会が設置され、規則に記載された動物実験計画書の審査、施設の審査、教育訓練の実施、自己点検・評価の実施等の役割を十分に果たしている。また、議事録も適切に保管されている。よって、動物実験委員会の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 飼養保管施設の審査時の必要要件を維持するために、動物実験委員会による定期的な視察を実施することが望ましい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験計画書は適正に審査され、結果報告書も 100%提出されており、動物実験が基本指針に則して適正に実施されている。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 麻酔法、安楽死法、人道的エンドポイントなどについて、最新の情報に基づき、より適正に実施されるよう周知されたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>安全管理を要する動物実験として、遺伝子組換え動物の使用実験や病原体の感染実験が行われている。動物実験の実施による事故等の発生はないものの、感染実験等については、一部の飼育室や実験室の表示、および飼育・安全等の設備に改善すべき点がみられた。よって、安全管理を要する動物実験の実施状況について、「該当する動物実験が適正に実施されている。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験委員会は各種委員会等と連携して、安全管理を要する動物実験に関する実験室の表示、管理区域の範囲、飼育時・輸送時の逸走防止対策等を再確認し、必要に応じて実験従事者等に対して指導や教育等の実施を検討されたい。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>それぞれの飼養保管施設の飼養保管状況に格差が認められ、一部の飼養保管マニュアルの内容が十分ではなかった。また、飼養保管施設の自己点検結果を動物実験委員会が十分確認していなかった。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 各飼養保管施設の飼養保管マニュアルの内容を再確認し、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説書」を参考に各種実験動物の特性にあわせた逸走防止や飼育設備等を検討されたい。また、マウス・ラットを長期間飼養保管する施設での定期的な微生物モニタリングの実施や、飼育ケージのサイズや飼育表示の標準化等について、動物実験委員会が主導する改善に向けた取り組みに期待したい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 一部の飼養保管施設において、器材の整理整頓が十分ではなく、清掃も不十分であった。また、一部の施設を除き、耐震対策が不十分な施設も多い。これらは委員会等による定期的な調査、視察等が実施されていないことも原因のひとつであった。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 動物実験委員会が飼養保管施設の維持管理状況を定期的に調査し、日常の清掃や管理状況を含め、より適正な維持管理をすることを検討されたい。また、飼養保管施設において飼育装置や設備機器の転倒防止等の耐震対策を検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
--

<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会による「岩手大学動物実験等管理規則」に基づいた教育訓練が実施され、受講者の氏名を記録している。また、実施方法も講義による方法の他、DVD による方法も行われていることは評価できる。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>平成 25 年度から動物実験についての自己点検・評価を実施しており、平成 28 年からは国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会が要請する項目に沿って適切に情報を公開している。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は、妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>「岩手大学における動物実験に関する情報」には主要な飼養保管施設の名称が掲載されていないので、公開を検討されたい。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

動物実験委員会が中心になり、適正な動物実験の実施を目指して努力していることが感じられた。この検証結果を基に、さらなる動物実験の適正化ならびに実験動物福祉の向上に取り組まれない。